

人権・同和教育

(1)人権同和教育目標

心身をきたえて自己の課題にいどむ学力と態度を身につけ、人権を尊重するとともに、身の回りの矛盾や問題点を正していこうとする子どもを育成する。

(2)努力点

子どもの実態を把握し、基礎学力の充実をはかる。
基本的な生活習慣を身につけさせる。(生活指導部と連携して)
正しいものの見方、考え方を大切にする子どもを育てる。
同和教育の科学的認識を深めるための素地を養う。
人権を重んじ、不合理なことを許さない子どもを育てる。

(3)実践目標

1. 社会科学習を通して、社会についての基礎的な認識を身につけさせる。
2. 文学教材・えがお等を通して、人間の本质を学ぶと共に豊かな心情を育てる。
3. 日常生活の中で、相手の立場に立ち、考え、行動できる子どもに育てる。
4. 明るい雰囲気話し合える学級づくりをする。
5. 人権・同和教育について保護者への啓発をはかる。
6. 人権・同和教育に対する教職員の研修を重ね、共通理解を深める。
7. 児童の生活と学力の実態を知り、学校教育に反映させる。
8. 地域学習教材、資料の収集につとめる。
9. 平和学習を通して、命の尊さや平和を大切にする心を育てる。(7月に、全校一斉の平和学習にとりくむ。)

(4)学年目標

- 1年 学校生活になれ、だれとでもなかよくする。
- 2年 だれとでもなかよくし、助け合う。
- 3年 友だちを大切にし、仲よく助け合う。
- 4年 相手の気持ちになって考え、思いやりの心をもって行動する。
- 5年 身のまわりの問題に気付き、相手の立場にたって考え行動する。
- 6年 一人ひとりの問題をみんなの問題として考え、力を合わせて解決できる。

紀伊タイム

1.目標

生活力を高めるとともに、学習の基礎となる知識・技能の向上をはかる。

2.時間

月～金 8:25～8:35

3.主な活動内容

- ・月曜日 全校一斉に読書をする。
- ・火～金曜日 漢字、計算、音読、読み聞かせなど学級で工夫して取り組む。